

R6.4月

治療開始日	治療終了日	期間	所定疾患傷病名	処置等の内容
4月1日	4月10日	10日	慢性心不全の増悪	慢性心不全を有し、ループ利尿剤、カリウム保持利尿剤服用中であるが、両下肢浮腫増強、聴診にて心雑（+）呼吸音クリア 採血にて心機能検査（BNP）111.1Pg/mlと高値、カリウム値低下につきカリウム製剤処方。Dementiaの進行もあり、継続して一般状態観察へ
4月18日	4月27日	10日	慢性心不全の増悪	慢性心不全、心房細動を有し、ループ利尿剤、カリウム保持利尿剤、降圧剤（β遮断剤）服用中ではあるが、喘鳴強し、聴診にて心音クリア、 肺雑音（+）、湿性ラ音・乾性ラ音 気管支拡張剤ソブテロールテープ処方。 採血にて心機能検査（BNP）1358.3Pg/mlと高値、貧血所見（9.9g/dl）。継続して一般状態観察へ
4月3日	4月12日	10日	急性肺炎	体温38.5℃ 胸部X-P D r 読影：右肺野肺炎像所見 Dr診察・聴診 ノロブリン(100)3錠 3×1 カルボシステイン3錠 レスブレン（20）3錠 3×1 10日間投与 熱発時頓用アセトアミノフェン0.4g又は ボルタレン坐薬(25)1/2本 経過観察へ
4月6日	4月11日	6日	尿路感染症	KT39.1℃ 検尿：亜硝酸(+)蛋白(+)糖(-) 潜血(+)白血球(+) Dr診察：尿路感染症の診断 抗菌剤6日間投与 Rp)ノフロキサシン(100)3T3×1 熱発時アセトアミノフェン投与 経過観察
4月11日	4月20日	10日	慢性心不全の増悪	慢性心不全、心房細動を有し、ループ利尿剤2種類服用中であるも此の処、両下肢浮腫増強。 体動時の息切れ（+）聴診上 心雑（+）呼吸音クリア。 採血にて心機能検査（BNP）932Pg/mlと高値を示す。 食事摂取量他一般状態について経過観察へ
4月25日	4月30日	6日	慢性心不全の増悪	うつ血性慢性心不全を有しているも一時状態低下、食事摂取困難、服薬困難にて現在まで服薬を中止しているも此の処、血圧低値、頻脈、不整脈、顔面浮腫、両下肢浮腫（L>R）聴診上呼吸音クリア 採血にてBNP638Pg/mlと高値を示す。 食事摂取量他一般状態について経過観察へ
4月25日	4月30日	6日	慢性心不全の増悪	慢性心不全を有し、降圧剤2剤内服中。此の処食事摂取量低下、下肢浮腫（+） 採血にて心機能検査（BNP） 356.7Pg/mlと高値を示す 食事摂取量他一般状態について経過観察へ

R6.5月

治療開始日	治療終了日	期間	所定疾患傷病名	処置等の内容
5月6日	5月8日	3日	尿路感染症	体温 38.6℃ 検尿：亜硝酸 (+) 尿蛋白 (+) 潜血 (-) 白血球 (+) Dr診察 尿路感染症の診断 抗菌剤+胃腸薬3日間投与 ルフロキサシン(100)3T 3×1 レバミド(100)3T 3×1 解熱剤アセトアミノフェン0.4g頓用 経過観察へ
5月10日	5月12日	3日	尿路感染症	KT38.4℃ 体熱感あり インフルエンザ、コロナウイルス抗原キット (陰性) 検尿：亜硝酸(±)蛋白(+) Dr診察：尿路感染症の診断 抗菌剤3日間投与 ルフロキサシン(100)3T 3×1 レバミド(100)3T 3×1 解熱剤アセトアミノフェン0.4g頓用 経過観察へ
5月12日	5月15日	4日	尿路感染症	KT39.4℃ 顔面紅潮 インフルエンザ、コロナウイルス抗原キット (陰性) 検尿：亜硝酸(2+)蛋白(2+) Dr診察：尿路感染症の診断 抗菌剤4日間投与 ルフロキサシン(100)3T 3×1 レバミド(100)3T 3×1 解熱剤アセトアミノフェン0.4g頓用経過観察
5月11日	5月15日	5日	尿路感染症	KT39.1℃ 体熱感あり インフルエンザ、コロナウイルス陰性 検尿：亜硝酸(±)蛋白(-)糖(-)潜血(-)白血球(±) Dr診察：尿路感染症の診断 抗菌剤5日間投与 ルフロキサシン(100)3T 3×1 レバミド(100)3T 3×1 解熱剤アセトアミノフェン0.4g頓用 経過観察へ
5月23日	5月31日	9日	尿路感染症	体温38.4℃ 検尿：亜硝酸 (2+) 蛋白 (2+) 白血球 (+) Dr診察 尿路感染症の診断 抗菌剤9日間投与 ルフロキサシン(100)3T 3×1 レバミド(100)3T 3×1 解熱剤アセトアミノフェン0.4g頓用 経過観察へ
5月1日	5月10日	10日	慢性心不全の増悪	慢性心不全を有し、両下肢浮腫著明。聴診にて心雑(+) 先月採血にて心機能検査 (BNP) 高値、カリウム値低下。 ループ利尿薬、カリウム保持利尿薬、カリウム製剤継続投与、Dementiaの進行もあり、継続して一般状態観察へ
5月1日	5月10日	10日	慢性心不全の増悪	慢性心不全、心房細動を有し、ループ利尿剤、カリウム保持 利尿剤、降圧剤 (β遮断剤) 服用中。聴診にて肺雑音(+), 呼吸音 (乾性ラ音) 前回より改善傾向。気管支拡張剤ツロブテロールテープ継続処方。 先月採血にて心機能検査 (BNP) 高値、貧血所見あり。継続して一般状態観察へ
5月9日	5月13日	5日	尿路感染症	排尿時痛の訴え。検尿：亜硝酸 (-)、ケトン (-)、蛋白 (±)、糖 (-)、潜血 (+)、白血球 (+) Dr診察 尿路感染症の診断 抗生剤5日間投与 ルフロキサシン (100) 3T 3×1 経過観察へ
5月16日	5月25日	10日	慢性心不全の増悪	慢性心不全を有し、降圧剤、心疾患用剤、利尿剤等を服薬中であるが、両下肢浮腫著明。Drによる聴診上心雑あり。呼吸音クリア。心臓病食の提供中。食事摂取量他 一般状態について経過観察
5月2日	5月11日	10日	慢性心不全の増悪	慢性心不全を有している。 状態低下につき一旦服薬中止。食事摂取量更に低下。Drによる聴診上心音弱く不整脈、左顔面、左下肢に浮腫あり利尿剤服薬開始。食事摂取量他一般状態について経過観察へ。
5月16日	5月25日	10日	慢性心不全の増悪	慢性心不全を有し、心疾患用剤等を服薬中であるが、更に食事摂取量低下。Drによる聴診上心雑音あり呼吸ラ音あり。食事摂取量他一般状態について経過観察へ。

R6.6月

治療開始日	治療終了日	期間	所定疾患傷病名	処置等の内容
6月13日	6月15日	3日	尿路感染症	体温36.8℃ 検尿施行 亜硝酸(2+) 尿蛋白(3+) PH(7) Dr診察 尿路感染症の診断 ノロキシリン(100)3錠 3×1 レバミピド(100)3錠 3×1 3日投与 経過観察へ
6月5日	6月7日	3日	尿路感染症	体温37.5℃ 検尿施行 亜硝酸(2+) Dr診察 尿路感染症の診断 ノロキシリン(100)3錠 3×1 レバミピド(100)3錠 3×1 3日投与 経過観察へ
6月3日	6月7日	5日	尿路感染症	KT39.2℃ 検尿：亜硝酸(-) 蛋白(2+) 白血球(±) 潜血(2+) 糖(+) コロナ・インフル抗原キット陰性 Dr診察 尿路感染症の診断 抗菌剤5日間投与 ノルフロキサシン(100)3T/3×1 レバミピド(100)3T/3×1 熱発時アセトアミノフェン0.4g頓用 経過観察へ
6月6日	6月12日	7日	尿路感染症	検尿：亜硝酸(+) 蛋白(+) 白血球(3+) 潜血(+) Dr診察 尿路感染症の診断 抗菌剤7日間投与 ノルフロキサシン(100)3T/3×1
6月12日	6月14日	3日	肺炎	KT39.1℃ Spo2 88% R30回 検尿：亜硝酸(-) 蛋白(±) 白血球(±) 潜血(-) Dr診察 肺炎の診断。 抗菌剤3日間投与 ピクシリンS(250)3T/3×1 熱発時アセトアミノフェン0.4g頓用 経過観察へ
6月17日	6月26日	10日	慢性心不全 増悪	慢性心不全を有し、降圧剤、心疾患用剤、利尿剤等を服薬中であるが、両下肢浮腫あり。Drによる聴診上心雑音あり。呼吸音クリア。心臓病食の提供中。食事摂取量他 一般状態について経過観察
6月24日	6月27日	4日	尿路感染症	KT39.1℃ 検尿：亜硝酸(-) 蛋白(±) 白血球(±) 潜血(-) Dr診察 尿路感染症の診断。 抗菌剤4日間投与 ピクシリンS(250)3T/3×1 熱発時アセトアミノフェン0.4g頓用 経過観察へ